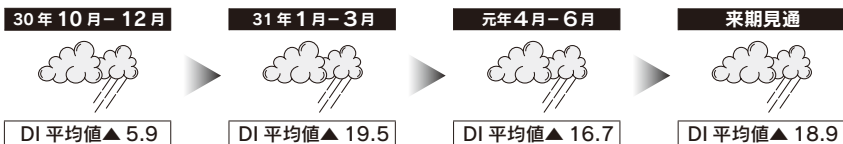


# 県内中小企業(製造業)景況動向

令和元年4月～6月期

厳しい局面継続、来期に明るさみられず

本会調査結果概要



## 業種別景況動向

### 食料品

10-12	1-3	4-6	来期見通
▲22.2	▲16.4	▲14.0	▲20.0
<p>同期比の売上高D Iは▲6.0、収益性D Iは▲22.0で、両方を合わせたD I平均値は▲14.0となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは6.0ポイント下降して▲20.0となり「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲10.0、収益性D Iは▲17.7となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは20.0、設備操業率D Iは▲6.8、設備投資実施率は26.5%となった。</p>			

### 繊維・同製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
▲17.3	▲25.9	▲13.3	▲18.4
<p>同期比の売上高D Iは▲13.3、収益性D Iも▲13.3で、両方を合わせたD I平均値は▲13.3となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは5.1ポイント下降して▲18.4となり「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲23.3、収益性D Iは▲14.3となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは14.3、設備操業率D Iは▲14.3、設備投資実施率は13.8%となった。</p>			

## 概況

売上高と収益性を合わせたD I平均値(同期比)については▲16.7となり、前回調査(31年1-3月期)の▲19.5から2.8ポイント上昇している。来期見通しにおいては2.2ポイント下降して▲18.9となっている。売上高D I(同期比)については▲11.3となり、前回調査から4.7ポイント上昇している。来期見通しにおいては5.5ポイント下降して▲16.8となっている。

収益性D I(同期比)については▲22.0となり、前回調査から1.0ポイント上昇している。来期見通しにおいては1.1ポイント上昇して

▲20.0となっている。

業況D I(同期比)については▲19.5となり、前回調査から0.3ポイント下降している。来期見通しにおいては1.2ポイント下降して▲20.4となっている。

原材料価格D I(前期比)については38.9となり、前回調査から13.2ポイント下降している。

販売価格D I(前期比)については3.9となり、前回調査から2.6ポイント下降している。

資金繰りD I(前期比)については▲11.8となり、前回調査から4.0ポイント上昇している。

金融機関の態度D I(前期比)については1.2となり、前回調査から





ら1.2ポイント上昇している。

設備投資実施率については26.9%となり、前回調査から2.1ポイント下降している。業種別で高い実施率となったのは「プラスチック製品」「窯業・土石製品」で、目的別では「品質向上」「増産」となっている。また、来期の設備投資計画率については31.7%となった。





設備操業率D I(前期比)については▲12.6となり、前回調査から5.3ポイント上昇している。

なお、回収率については、調査対象500社のうち256社からの回答があり51.2%となった。また、回答企業の平均従業員数は56.7人であった。





### 紙・加工品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
15.4	▲41.7	▲13.4	▲3.4
<p>同期比の売上高D Iは13.3、収益性D Iは▲40.0、両方を合わせたD I平均値は▲13.4となり「小雨」模様になっている。来期見通しは10.0ポイント上昇して▲3.4となり「曇」模様に転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは26.6、収益性D Iは▲13.3となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは6.6、設備操業率D Iは「上昇」・「下降」とともに13.3で0.0、設備投資実施率は14.3%となった。</p>			





### 木材・木製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲35.0	▲5.0	▲45.5	▲27.3
<p>同期比の売上高D Iは▲45.5、収益性D Iも▲45.5で、両方を合わせたD I平均値は▲45.5となり「雨」模様に転じている。来期見通しは18.2ポイント上昇して▲27.3となり「小雨」模様に転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲33.3、収益性D Iも▲33.3となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは33.4、設備操業率D Iは▲25.0、設備投資実施率は0.0%となった。</p>			





### 金属・同製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
20.8	▲6.3	▲34.7	▲25.0
<p>同期比の売上高D Iは▲34.6、収益性D Iは▲34.7で、両方を合わせたD I平均値は▲34.7となり「雨」模様に転じている。来期見通しは9.7ポイント上昇して▲25.0となり「小雨」模様に転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは「増加」・「減少」とともに23.1で0.0、収益性D Iは▲3.9となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは26.9、設備操業率D Iは▲23.1、設備投資実施率は26.9%となった。</p>			





### 窯業・土石製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲15.6	▲28.4	▲25.0	▲25.0
<p>同期比の売上高D Iは▲27.2、収益性D Iは▲22.8で、両方を合わせたD I平均値は▲25.0となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは今回調査と同じく▲25.0となり「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲22.7、収益性D Iは▲31.4となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは14.3、設備操業率D Iは▲28.5、設備投資実施率は33.3%となった。</p>			

### プラスチック製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
3.6	▲23.1	▲13.7	▲4.6
<p>同期比の売上高D Iは「増加」・「減少」とともに36.4で0.0、収益性D Iは▲27.3で、両方を合わせたD I平均値は▲13.7となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは9.1ポイント上昇して▲4.6となり「曇」模様に転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは18.2、収益性D Iも18.2となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは18.2、設備操業率D Iは36.4、設備投資実施率は45.5%となった。</p>			

### 機械・機器

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
1.5	▲19.1	▲1.9	▲16.4
<p>同期比の売上高D Iは2.9、収益性D Iは▲6.7で、両方を合わせたD I平均値は▲1.9となり「曇」模様に転じている。来期見通しは14.5ポイント下降して▲16.4となり「小雨」模様に転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲8.8、収益性D Iは▲17.8となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは19.0、設備操業率D Iは▲12.3、設備投資実施率は32.8%となった。</p>			